

ひまわりだより

平成 29 年 度
第 2 号
平成 29 年 5 月 1 日
ひまわり 特別支援学校



学校教育目標：かがやく子 - 今も未来も -



「笑 顔」

校 長 村瀬 修一

暖かい日と寒い日とが繰り返されながら、少しずつ季節が進み5月（皐月）を迎えました。私の今までの感覚では、4月中はまだまだ肌寒い日々も見受けられますが、5月のゴールデンウィークあたりから初夏を思わせるような日が出てきます。

4月当初は、春という言葉から受けるイメージとはかけ離れ、朝夕や日毎の寒暖の差、新しいお友達や先生など、子どもたちを取り巻く環境の変化によって体調を崩しやすい時期でもあります。

そうした中、子どもたちも少しずつ慣れてきて、私が子どもたちや教職員にお願いした「さわやかな挨拶」が、子ども同士、子どもと教職員との間で交わされています。

私に対しても、初めは緊張した面持ちで接していた子どもたちも少しずつ慣れてくれて、握手をしたり、ハイタッチをしたり、言葉を交わしたりしてくれるようになりました。中には私の頭を触って喜んでくれる子もいます。我が愛車で学校に向かう時、思わずそのことを思い出して笑顔になります。

「さわやかな挨拶」を交わすと、

- 1 挨拶をした人は気持ちよくなります。
- 2 挨拶を受けた人も気持ちよくなります。
- 3 そこから、よい人間関係が生まれます。
- 4 みんな笑顔になり、免疫力が上がったりストレスが解消したりすると言われています。

皐月（5月）の由来は、稲作と大きく関わっているようです。確かに5月には田に水を引いたり、稲を植えたり、いよいよ稲作が始まる時季になります。稲穂が豊かに実るように、本校の子どもたちには、自分らしさを発揮しながら充実した学校生活を笑顔で送ってほしいと思います。